

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第20期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社日本一ソフトウェア
【英訳名】	Nippon Ichi Software, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 北角 浩一
【本店の所在の場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【最寄りの連絡場所】	岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
【電話番号】	058 - 371 - 7275（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 世古 哲久
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第3四半期連結 累計期間	第20期 第3四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	1,981,536	1,395,061	2,460,752
経常利益又は経常損失() (千円)	401,242	66,509	326,114
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失() (千円)	283,261	124,404	215,989
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	258,590	104,765	228,137
純資産額(千円)	1,215,419	1,080,084	1,184,966
総資産額(千円)	2,241,922	2,459,270	2,001,659
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	13,435.26	5,879.51	10,244.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	13,234.26		10,038.83
自己資本比率(%)	54.2	43.9	59.2

回次	第19期 第3四半期連結 会計期間	第20期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額() (円)	7,640.07	1,660.83

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第20期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速や、依然として残る欧州の政府債務危機等の影響により、景気の動きに弱さが見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、ソーシャルゲーム市場の拡大が続き、また、昨年12月には任天堂の新ハードウェアWii Uが発売され、市場のさらなる盛り上がりが見込まれております。

コンシューマゲーム業界では、Wii Uの発売に加え、年末商戦ということもあり、ハードウェア市場、ソフトウェア市場ともに販売数が大きく増加しました。モバイル業界では、スマートフォン（高機能携帯電話）への買い替え需要が続いており、ソーシャルゲーム市場の拡大も続いております。アミューズメント業界は、個人消費が低調に推移したこと等により、市場が軟調に推移しました。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、20周年記念タイトルを含む全8タイトルを発売したほか、発売を予定しているタイトルの開発及びプロモーション活動を行いました。また、国内外で開催されたイベントに参加し、当社ブランド及び当社タイトルの認知度向上に努めました。オンライン事業では、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行うとともに、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信等を行ってまいりました。ライセンス事業では、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信等をしてまいりました。その他事業では、他社タイトルの受託開発、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営等を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,395,061千円（前年同期比29.6%減）、営業損失78,702千円（前年同四半期は415,995千円の営業利益）、経常損失66,509千円（前年同四半期は401,242千円の経常利益）、四半期純損失124,404千円（前年同四半期は283,261千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

（パッケージ事業）

パッケージ事業におきましては、国内外合わせ全8タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『絶対ヒーロー改造計画 PSP the Best』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『洞窟物語 3D』（ニンテンドー3DS専用ゲームソフト）、『特殊報道部』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『MISSINGPARTS the TANTEI stories Complete』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）の4タイトルを発売いたしました。また、当社は2013年7月12日に設立20周年を迎えるにあたり、『ディスガイア D2』（PlayStation3専用ソフト）をはじめとした記念タイトルの発売を予定しており、その開発及びプロモーション活動を行いました。

海外市場では、『Disgaea3: Absence of Detention』（邦題：『魔界戦記ディスガイア3 Return』、PlayStation Vita専用ゲームソフト）他3タイトルの計4タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売につきましては、「アサギFC Tシャツ」等の新規グッズの製作や、当社の通信販売サイトにおけるキャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。また、新規顧客の獲得に向けて「コミックマーケット83」をはじめとした国内外で行われたイベントに出展し、新規グッズの先行販売等を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高973,186千円、営業損失110,674千円となりました。

（オンライン事業）

オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『無限魔界ディスガイア』の配信、PlayStation Networkによるダウンロードコンテンツの配信をしてまいりました。また、GREEにて配信中のソーシャルゲーム『ディスガイア魔界コレクション』を新たにヤマダゲームで配信開始いたしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高246,563千円、営業利益145,598千円となりました。

（ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として製作したGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピクリマン』の配信をしております。また、当社タイトルのコミカライズ等を行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高74,441千円、営業利益63,285千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社プロコリーから発売が予定されております『うたのプリンスさまっ All Star』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『神々の悪戯（あそび）』（PlayStation Portable専用ゲームソフト）の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードゲームを扱う「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高100,869千円、営業利益9,726千円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,459,270千円となり、前連結会計年度末に比べ457,611千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、商品及び製品の増加（前連結会計年度末に比べ262,446千円の増加）、仕掛品の増加（前連結会計年度末に比べ、196,456千円の増加）等によるものであります。

主な固定資産の増減は、土地の増加（前連結会計年度末に比べ39,941千円の増加）等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,379,185千円となり、前連結会計年度末に比べ562,493千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ510,400千円の増加）、未払金の増加（前連結会計年度末に比べ59,869千円の増加）等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（前連結会計年度末に比べ9,414千円の増加）等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,080,084千円となり、前連結会計年度末に比べ104,882千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末に比べ128,222千円の減少）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末に比べ26,585千円の増加）等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000
計	68,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	21,463	21,463	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	21,463	21,463	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日 (注)		21,463		245,602		235,602

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 290		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,173	21,173	同上
単元未満株式			
発行済株式総数	21,463		
総株主の議決権		21,173	

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 日本一ソフトウェア	岐阜県各務原市蘇原月丘 町3丁目17番	290		290	1.35
計		290		290	1.35

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,114	652,106
受取手形及び売掛金	231,808	132,351
商品及び製品	59,772	322,218
仕掛品	180,007	376,464
繰延税金資産	30,163	31,168
その他	40,746	114,727
貸倒引当金	850	1,700
流動資産合計	1,214,763	1,627,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	351,614	347,508
機械装置及び運搬具(純額)	7,372	5,467
土地	172,746	212,687
その他(純額)	38,943	36,240
有形固定資産合計	570,676	601,903
無形固定資産	11,892	12,611
投資その他の資産		
投資有価証券	177,768	176,012
その他	26,558	41,405
投資その他の資産合計	204,327	217,417
固定資産合計	786,896	831,932
資産合計	2,001,659	2,459,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,312	58,194
短期借入金	329,600	840,000
1年内返済予定の長期借入金	37,507	46,872
未払金	72,468	132,338
未払法人税等	25,529	4,482
賞与引当金	17,492	12,175
売上値引引当金	55,876	60,228
その他	39,791	53,638
流動負債合計	652,577	1,207,928
固定負債		
長期借入金	145,742	155,156
退職給付引当金	10,375	12,631
その他	7,997	3,469
固定負債合計	164,115	171,257
負債合計	816,692	1,379,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	244,062	245,602
資本剰余金	234,062	235,602
利益剰余金	805,589	677,366
自己株式	16,870	16,870
株主資本合計	1,266,843	1,141,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,644	1,318
為替換算調整勘定	89,521	62,935
その他の包括利益累計額合計	81,877	61,616
純資産合計	1,184,966	1,080,084
負債純資産合計	2,001,659	2,459,270

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,981,536	1,395,061
売上原価	918,061	712,959
売上総利益	1,063,474	682,101
販売費及び一般管理費	647,479	760,803
営業利益又は営業損失()	415,995	78,702
営業外収益		
受取利息	3,228	1,501
受取配当金	863	2,316
投資事業組合運用益	-	11,694
その他	2,906	3,879
営業外収益合計	6,998	19,391
営業外費用		
支払利息	4,922	4,831
為替差損	16,792	2,336
その他	36	30
営業外費用合計	21,751	7,198
経常利益又は経常損失()	401,242	66,509
特別利益		
固定資産売却益	4	-
投資有価証券売却益	-	90
子会社株式売却益	-	3,378
特別利益合計	4	3,468
特別損失		
固定資産除却損	-	2,509
投資有価証券売却損	5,443	-
投資有価証券評価損	16,386	3,900
特別損失合計	21,829	6,409
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	379,417	69,451
法人税等	96,155	55,575
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	283,261	125,026
少数株主損失()	-	621
四半期純利益又は四半期純損失()	283,261	124,404

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	283,261	125,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	965	6,325
為替換算調整勘定	23,705	26,585
その他の包括利益合計	24,671	20,260
四半期包括利益	258,590	104,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258,590	104,144
少数株主に係る四半期包括利益	-	621

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、海外連結子会社に関して、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	32,330千円	34,367千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	4,214	200	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	4,217	200	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,528,698	219,451	109,385	124,001	1,981,536	-	1,981,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,528,698	219,451	109,385	124,001	1,981,536	-	1,981,536
セグメント利益又はセグメント 損失()	274,003	178,791	98,180	27,177	578,152	(162,157)	415,995

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額162,157千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	973,186	246,563	74,441	100,869	1,395,061	-	1,395,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	973,186	246,563	74,441	100,869	1,395,061	-	1,395,061
セグメント利益又はセグメント 損失()	110,674	145,598	63,285	9,726	107,936	(186,638)	78,702

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額186,638千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	13,435円26銭	5,879円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	283,261	124,404
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	283,261	124,404
普通株式の期中平均株式数(株)	21,083	21,159
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	13,234円26銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	320	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月13日

株式会社日本一ソフトウェア
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 順 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 桑原 雅行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社日本一ソフトウェアの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査法人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社日本一ソフトウェア及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。